



## 地域交流活動かわら版

▶ **地域をフィールドに研究、社会貢献活動に取り組んでいます！**

本学では、地域課題解決や地域活性、産学公連携活動などに寄与する研究や社会貢献活動を支援するため、活動推進に係る費用を助成する「地域活動助成費」を設けています。平成30年度は、研究枠と社会貢献枠で活動を公募し、研究枠からは3件、社会貢献枠からは13件の活動に対して支援を行うことが決まりました。

## 【研究枠】

No.	学部	担当教員	活動テーマ
1	保健学部	一場友実准教授	障がい者スポーツポッチャを通じた地域高齢者の健康増進運動としての効果に関する研究
2	医学部	楊國昌教授	地域における子どもの虐待防止システムの構築
3	保健学部	石井博之教授	東日本大震災による仮設住宅居住者と東京都民の運動実施状況の比較研究



## 【社会貢献枠】

No.	学部	担当教員	活動テーマ
1	保健学部	前田直助教	精神に障害がある人の配偶者・パートナーへの支援
2	外国語学部	志村良浩教授	JR東日本主催「駅からハイキング」プログラムの企画・運営
3	総合政策学部	北島勉教授	HIV感染予防に関する情報提供
4	保健学部	千田晋治特任教授	BLS指導を通じた実践的な災害対応力の向上
5	医学部	富田泰彦准教授	大学・地域関係機関による地域共生システムの構築 ～子供の居場所作りから学習支援プログラムへ～
6	保健学部	吉野純教授	極低出生体重児の育児支援サークル「ぴあず」
7	保健学部	楠田美奈助教	花でとりもつ地域の『輪(和)』
8	外国語学部	宇佐美貴浩教授	鎌倉浄智寺写真供養感謝祭の企画・運営
9	保健学部	佐々木裕子准教授	医療系大学生による保育園でのいのちのおはなし会の実践
10	保健学部	門馬博講師	少年期スポーツ外傷・障害の予防啓発活動
11	保健学部	榎本雪絵准教授	八王子市・三鷹市における健幸教室および体力測定の開催
12	保健学部	相原圭太助教	「生涯スポーツの機会提供」プログラム
13	保健学部	太田ひろみ教授	多胎育児支援活動「ツインズマーケット」の開催

▶ **第7回羽村市環境フェスティバルで司会進行にチャレンジ！**司会を務めた  
高橋さん

6月2日、羽村市生涯学習センターゆとろぎを会場に、環境配慮意識の高揚や環境配慮行動の促進を図ることを目的とした、第7回羽村市環境フェスティバルが開催されました。

本学からは昨年度の「羽村×八丈エコ教室」に参加した、外国語学部2年の高橋優李亜さんがスタッフとして参加し、ステージ企画の司会進行を務めました。高橋さんは「お客さんの顔を見ながら、聞き取りやすいように心がけた。イベントを盛り上げるお手伝いできたこと、昨年度お世話になった市職員の方との交流が楽しかった」と振り返りました。

## ▶救急救命学科の学生が羽村市中学生にBLS指導を実施

保健学部救急救命学科では、杏林大学と羽村市との連携協定に基づき、6月15日に市内の中学3校、計442名の生徒に対してBLS（一次救命処置）指導を行いました。救急救命学科3年生48名が中学生への指導を担当し、胸骨圧迫心マッサージやAEDの使用手順などの実技指導を実施しました。

受講した生徒からは、「倒れている人を発見したら勇気を持って対応したい。」と心強い言葉があり、また指導者となった学生は、「指導することの難しさを学び、充実感を得た。」との感想がありました。

このBLS指導は、2010年から毎年実施しており、防災における「共助」の力を育むことで地域貢献に繋がっています。

BLS指導の様子



## ▶提携校のポートランド州立大学がフィールドトリップのため来日！



本学と提携校であるポートランド州立大学は、防災におけるまちづくりの共同研究を実施しています。その一環でフィールドトリップにより来日し、そのコーディネーターを杏林 CCRC 研究所兼任研究員で総合政策学部の三浦秀之准教授が担い、13名の学生・教員の受入れを行いました。

6月29日には三鷹市高山小学校避難所運営連絡会による避難所運営の取組み説明、三鷹市の施設や災害医療にも取り組む杏林大学病院高度救命救急センターを視察しました。

6月30日にはポートランド州立大学行政学部学部長の西芝雅美准教授による「女性の視点でみる米国ポートランドのコミュニティ～全米一住みよい（といわれる）街の隠し味～」と題した講演会が三鷹駅前コミュニティセンターで開催され、近隣住民などが多数参加し好評のうち終了しました。



## 地域で活躍！杏林学生

保健学部救急救命学科4年の菱沼晃大さんは、真摯かつ継続的に消防団活動に取り組み、顕著な実績を収め、地域社会へ多大なる貢献をした学生として、三鷹市からその功績を認証され「三鷹市学生消防団活動認証」が交付されました。



保健学部救急救命学科4年 菱沼晃大さん

### 一どのような活動を行っていますか？

私は大学3年生の時に三鷹市の消防団に入団し活動を続けています。火災発生時のための訓練、消防訓練、水防訓練やお祭りの警備などを行い、実際に火災現場に出動することもあり、日々地域住民の方の安心・安全のために備えています。各種訓練やお祭りの警備で地域の方と直接関わり、災害時に備えてもらうよう防災啓発も行っています。

### 一消防団活動を通して学んだこと、感じたことは何ですか？

消防団員の中には親と同じ年の方もいて、上手くコミュニケーションを取れるか不安でしたが、先輩団員のアドバイスなどをもらいながら徐々に溶け込むことができ、様々な年齢の方がいる組織でのコミュニケーションを学ぶことができたと思っています。

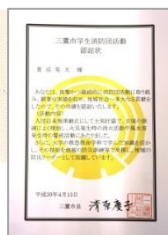
また、消防団員にならなければ関わることができない三鷹市の地域の方々と関わることができ、その中で住民の方に感謝され、笑顔を見ることができた時は全力を出して自分のできることをやっていたいと思いました。

### 一今後の展望を教えてください。

7月には三鷹消防署との連携訓練、秋には消防訓練に参加する予定です。将来、消防官として働きたいと考えているため、更に消防について勉強し少しでも多くのことを吸収し、地域住民のためにより力を尽くしていきたいと思っています。



消防訓練中の菱沼さん



←交付された認証状